

和歌山県 資料提供
令和7年6月5日



## 令和7年度和歌山県統計グラフコンクールの 作品を募集します！

和歌山県では、統計の知識を広めることと、統計を表現する技術を高めることを目的に、県内の小学生、中学生、高校生以上の生徒・学生及び一般から、統計グラフ作品を募集します。

作品のテーマは自由です。昨年度は、「和歌山城動物公園のすきな動物調べたよ」や「その日は突然やってくる！！南海トラフ巨大地震」等、様々なテーマの作品の応募がありました。身近な問題や自分が興味・関心を持ったことについて、統計グラフを用い、自分の思いや考えを表現してみましょう。

応募の締切は夏休み明けですので、夏休み中にアイディアを練りましょう！

◆応募資格：県内に居住する方又は県内の学校に在学、県内の事業所に勤務している方

◆応募部門：第1部 小学校1年生及び2年生の作品 ※

第2部 小学校3年生及び4年生の作品 ※

第3部 小学校5年生及び6年生の作品 ※

第4部 中学生の作品 ※

第5部 小中学生のパソコン統計グラフの作品

第6部 高校生以上の作品

（手書き・パソコン利用は問いません）

※ 第1部～第4部は、グラフ部分をパソコンで作成した作品は含みません

◆課題：自由

（ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします）

◆表彰：各部特選1点以内、入選5点以内及び佳作若干点、学校奨励賞

◆応募締切：令和7年9月2日（火）必着

◆応募方法：郵送又は持参により、和歌山県調査統計課まで

◆応募先：〒640-8585

和歌山市小松原通1-1 和歌山県調査統計課（本館4F）

◆募集要領、応募様式、その他詳細については、和歌山県調査統計課HP内グラフコンクールホームページをご覧ください。

(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020300/toukeigraph/d00220173.html>)



（連絡先）

企画部 企画政策局 調査統計課

企画調整班

担当：田村、泉

電話：073-441-2385（直通）

## 【第72回統計グラフ全国コンクール 佳作入賞作品】

## 「気象データ分析～梅雨編～」

海南省立亀川小学校 6 年 (受賞当時)

## 米地 優介さんの作品

昨年度は、266点の応募をいただき、中から特選4点、入選15点、佳作10点を決定しました。特選・入選作品の中から14点を、統計グラフ全国コンクールへ出品し、2点が佳作に入賞しました。

本年度も、優秀作品を第73回統計グラフ全国コンクールへ出品予定です。みなさまのご応募をお待ちしております。

# 空き家問題

## 動機

私の祖父は畠暮真一一人暮らしをしていました。しかし、母や叔父たちは一人で住む祖父を心配し、私の家の近くの施設に暮すことになりました。しかし、施設には祖父住んでいた家が残っていました。誰も住んでいないため、庭にはたくさんの草が生え、定期的に草刈りに行かなければなりませんでした。少しの間放題でどこか、家に暮らしている風にまで形容され、住所で迷惑をかけることもありました。このような状況から、母、叔父たち、そして祖父が相談し、家を売ることにしました。幸い、その家は取り壇されることがなく、今は別の方が住んでくれています。

祖父の家の新しい住民が見つかった良かったのですが、最近では設置された空き家の数が増えているというニュースをよく聞きます。また、私たちの住んでいる地域に空き家があるため、現状を調べてみたいと思いました。

4. 人口増加率と空き家率の関係を折れ線グラフで表してみました。

この折れ線グラフは、各都道府県の人口増加率と空き家率を示すものです。横軸は都道府県名、縦軸は空き家率と人口増加率。空き家率は青い折れ線で、人口増加率は赤い折れ線です。空き家率が最も高いのは鹿児島県で、人口増加率が最も高いのは東京都です。

図4. 人口増加率と空き家率の関係を折れ線グラフで表してみました。  
図4. 人口増加率と空き家率の関係を折れ線グラフで表してみました。  
図4. 人口増加率と空き家率の関係を折れ線グラフで表してみました。

1. 統務省の今和5年住宅・土地統計調査より空き家数を調べてみました。

この柱状図は、各都道府県の空き家数を示すものです。縦軸は空き家数、横軸は都道府県名。空き家数が最も多いのは東京都で、次いで大阪府、兵庫県などです。

2. 全体の住宅数を考慮する必要があることに気づき、空き家率を計算してみました。

空き家率=空き家数/住宅戸数×100

(総務省 今和5年住宅・土地統計調査より)

この折れ線グラフは、各都道府県の空き家率を示すものです。縦軸は空き家率、横軸は都道府県名。空き家率が最も高いのは和歌山県で、次いで鹿児島県、奈良県などです。

3. 和歌山県の空き家が多くの原因は、人口減少が関係しているに予想し、空き家率と人口減少の関係を調べました。

人口増減率=2023年人口/2015年人口

(総務省 今和5年人口推計より)

この折れ線グラフは、各都道府県の空き家率と人口増減率を示すものです。縦軸は空き家率、横軸は都道府県名。空き家率が最も高いのは和歌山県で、人口増減率が最も高いのは東京都です。

まとめ

空き家数を調べてみると、大都市の方が多いことがわかりました。しかし、空き家率で見ると、地方の方で高く、私が住んでいる和歌山県では、5戸のうち1戸が空き家だとわかりました。このことから、様々な視点で物事を見る大切さがわかりました。

また、人口増加率が低い都道府県ほど、空き家率が高いこともわかりました。空き家を減らす取り組みとして、各都道府県で「空き家バンク」が行われていますが、空き家バンクの多くは空き家率と同様に関係がなさそうでした。しかし、和歌山県は空き家率が非常に高いため、和歌山県を魅力的な街にし、多くの人に来てもらえるような工夫が必要だと思いました。

## 「空き家問題」

和歌山県立向陽中学校 3 年 (受賞当時)

## 橋本 千穂さんの作品